

## 1 練馬区の排出量

- 区のCO<sub>2</sub>排出量は、2022年度時点で、173.2万t-CO<sub>2</sub>、そのうち、家庭部門が占める割合は53.1%で、排出量は92万t-CO<sub>2</sub>（前回審議会資料2より）
- 仮に、2022年度の家庭部門の排出量を同年の世帯数で割ると、一世帯あたりの年間排出量は約2.4t-CO<sub>2</sub>

## 2 練馬区のCO<sub>2</sub>削減目標

- 練馬区環境基本計画2023では、2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ、脱炭素社会実現という長期標に向けたマイルストーンとして、CO<sub>2</sub>排出量を2030年度までに116.9万t-CO<sub>2</sub>（2019年度現状値から、あと58.8万t-CO<sub>2</sub>削減）以下にすることを目標にしている。
- 目標達成のためには、区内のCO<sub>2</sub>排出量の5割以上を占める家庭部門由來のCO<sub>2</sub>排出量の削減が不可欠である。
- 家庭部門のCO<sub>2</sub>削減目標（10.4万t-CO<sub>2</sub>）のうち、「環境に配慮したライフスタイルの推進」により**9.4万t-CO<sub>2</sub>**の削減を目指している。



「住宅等の消費エネルギー削減」「環境に配慮したライフスタイルの推進」「区の率先行動」の対策により、今後区が独自に削減すべき排出量 12.3万t-CO<sub>2</sub>を上回る12.6万t-CO<sub>2</sub>を削減します。



## 3 「環境に配慮したライフスタイルの推進」による**9.4万t-CO<sub>2</sub>**の削減目標について

- ※1 練馬区環境基本計画2023を基に作成  
※2 世帯数および家庭での省エネ工夫100%実施による削減量（955.1kg-CO<sub>2</sub>は固定）
- CO<sub>2</sub>削減量の推計は、2022年度現況で18.7万t-CO<sub>2</sub>、2030年度目標は28.1万t-CO<sub>2</sub>であり、その差**9.4万t-CO<sub>2</sub>**を今後削減する。
  - 目標達成に向け、一世帯あたりのCO<sub>2</sub>削減量を高めるとともに、家庭での省エネの工夫に取り組む世帯の割合を高めていく必要がある。

### (1) 9.4万t-CO<sub>2</sub>の考え方

$$\begin{array}{r} \text{2030 年度目標} \\ \text{達成時の削減量} \\ \text{【B】} \end{array} - \begin{array}{r} \text{現況の削減量} \\ \text{【A】} \end{array} = \begin{array}{r} 9.4 \text{ 万t-CO}_2 \end{array}$$

28.1 万t-CO<sub>2</sub>

18.7 万t-CO<sub>2</sub>

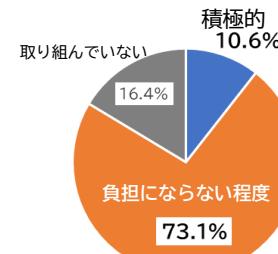
### (2) 家庭での省エネの工夫取組状況別の削減量と目標量（推定）

家庭での省エネの工夫への取組状況	取組実施による削減量		現況と目標との差 (現況から更に削減に取り組んでほしい量)
	2022年度現況	2030年度目標	
積極的に取り組んでいる	696kg	830kg	134kg
負担にならない程度に取り組んでいる	563kg	696kg	134kg
取り組んでいない（今後取り組む予定含む）	0kg	0kg	0kg

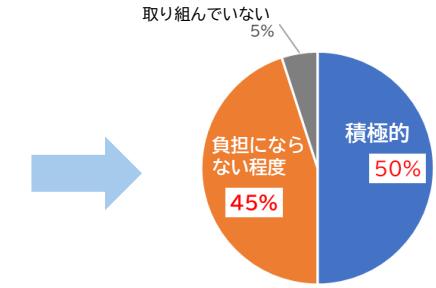
単位: CO<sub>2</sub>

### (3) 全世帯に占める省エネの工夫取組状況別の構成比（推定）

#### 2022年度現況



#### 2030年度目標



## 4 9.4万t-CO<sub>2</sub>削減のための具体的な取組

- 各家庭において省エネの工夫（別紙1-2）を実施することで、年間**約1t-CO<sub>2</sub>**の削減が可能 ⇒区民一人ひとりの行動が大きな削減効果を生む